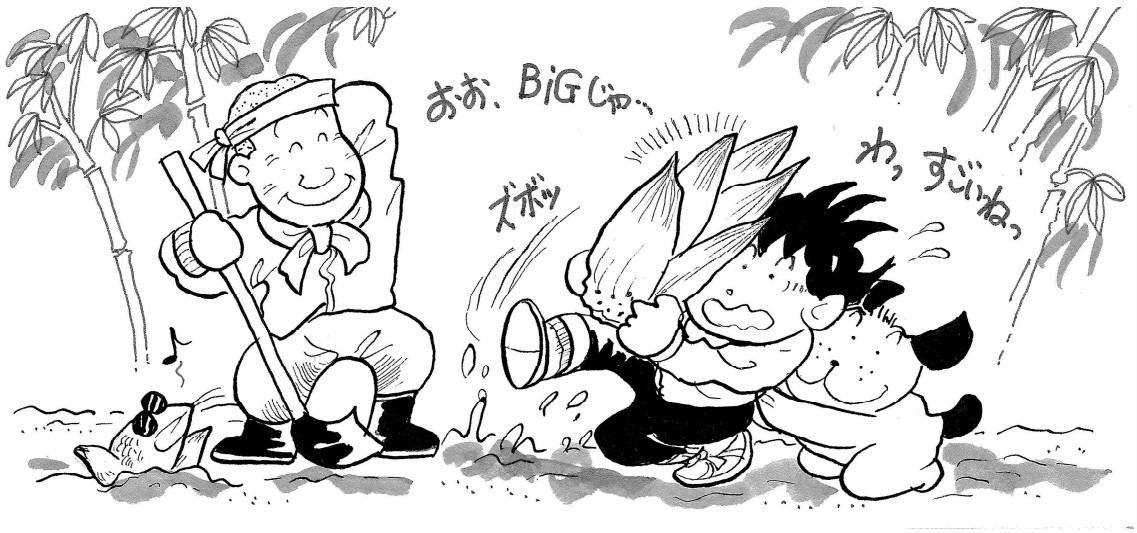
第39巻2号2015年5月1日発行（毎月1日発行）

ONE BOOK ONE LIFE 2015 5月号



掲示板

ボランティア友の会主催のワークショップ「視覚障害体験で見えること」にご参加を！

毎年恒例になっているボランティア友の会主催のガイド体験会の内容をリニューアルし、見えない方、見えにくい方々と接するポイントを学びます。視覚障害の方と接するための基本を学んだ後、実際に視覚以外の感覚を使っていくつかの体験やコミュニケーション法を学びます。そこから見えてくるものは？　ぜひご参加ください。（今回は館外の歩行体験はありません。）

日時　６月４日(木)13時～16時
場所　当館４階会議室
定員　20人(先着順)
申込　３階総務係(電話06-6441-0015)
申込締切　５月30日(土)

企業・団体職員向けオープンデーを開催

当館では、企業や公共団体の方に、視覚障害のお客様へのサービスやサポートのポイントを理解していただくためのワークショップを企画。第１回を５月29日(金)14時～16時、当館４階で開催します。参加無料。定員10人(先着順)。お問い合わせは電話06-6441-0015の当館総務係へ。

世界点字作文コンクール・サポート賞募集

点字毎日主催の第13回オンキヨー世界点字作文コンクールでは、ボランティアを含め「家庭、学校、職場、地域で視覚障害者と接する方」を対象にしたサポート賞の作品も募集しています。テーマは、点字を通して「生き方が変わった」「心豊かな生活につながった」など幅広い体験やエピソードなど。優秀賞と佳作各１編に賞金とミニコンポが贈られます。詳しくは応募要項を、当館３階カウンターか点字毎日「作文コンクール係」(電話06-6346-8386)でご覧ください。

楊雪元、踊正太郎、北山眞路子さんが共演

当館となじみの深い視覚障害音楽家、中国笛とテノールの楊雪元さんと、シャンソンの北山眞路子さん、そして津軽三味線で日本一に輝き、全国で活躍する踊正太郎さんが共演するコンサートが６月13日(土)15時30分から大阪市西区の玉水記念館３階中ホールで開かれます。入場料前売2,500円(当日3,000円)、ペア3,000円(前売のみ)。問い合わせは主催者の視覚障害者支援総合センター(電話03-5310-5051)まで。

サービスと製作の両面から、事業の強化・発展を図ります

情報文化センター・2015年度事業計画のご紹介

当館はサービス部、製作部、総務部の３部門から成り、メディア製作センターも加えて合計約45人の職員が勤務しています。今年度の事業計画では、特にサービス部と製作部で新たな目標を立て、事業を進めていくことにしました。ぜひご理解とご支援をお願いいたします。（館長　竹下　亘）

サービス部＝職員増員・相談対応を強化

サービス部は、本館５階のサービスフロア（用具・機器係）と、別館（アルテビル９階、図書・情報係）に分かれ、合計17人の職員が連携を密に取りながら、サービスを行っています。

この内、サービスフロアでは、用具や機器の紹介・販売・講習等を行う一方、視覚障害に関する種々のご相談に応じています。近年、眼科や福祉事務所等で当館を紹介していただくケースが増えており、相談内容は用具や機器の選択はもちろん、手帳の制度や就労継続に関するご相談、各種支援団体や趣味のグループ探しなど多岐にわたります。そこで、今年度からサービスフロアの職員を増員し、こうした相談への対応にさらに力を注ぐことにしました。

また、これに合わせて、サービスフロアを大幅に模様替えしました。これまで３階に勤務していたパソコン設定担当職員の席を５階に移し、５階にあった書庫を３階に移設しました。用具・機器係の全職員と図書・情報係の対面リーディング等担当職員が５階に勢揃いし、これまで以上に迅速・円滑なサービス提供を目指します。

なお、これまで製作部に属し、点字製作係と同じ８階で業務を行っていた整理・情報係（原本の受入や点字・録音図書の装備、サピエへの登録等を担当）をサービス部の図書・情報係に組み入れ、別館に移動しました。書誌情報作りから図書貸出までの一貫した流れを整え、図書貸出サービスと業務の円滑化を図ります。

今後も、一人でも多くの視覚障害者の方が当館のサービスを利用し、楽しく、豊かな生活を実現されることを目指し、サービス提供に励んで参ります。　　（サービス部長　岡田　弥）

製作部＝専門音訳と電子書籍の融合を

当館が製作・提供している情報は、基本となる点字・音声デイジー図書をはじめ、教科書、選挙公報、政府刊行物、映画やテレビ番組の音声解説、シネマ･デイジーなど実に多種です。デジタル化社会に伴い、利用者のニーズは年々多様化しており、製作部でも多くのボランティアの方々の協力を得ながら新しい技術の研究・導入に努め、全国の関係施設を牽引してきました。

一方、当館には長年にわたって培ってきた専門点訳、専門音訳の知識と技術が財産として蓄積されています。図・表・写真・グラフなどの視覚的資料や、教科書、学術文献図書などの専門的な資料を点訳、音訳する専門技術は、ＩＴ機器や合成音声の発達の陰で、ともすると影が薄くなりつつありますが、視覚障害児・者への情報保障において欠くことのできないものです。

そこで、製作部では、新しい情報技術の研究とともに、“人”でなければ成しえない専門技術を広め、継承していくことが当館の重要な責務だと考え、本年度から３ヶ年を目標に、音訳者による専門音訳の技術と、最先端の電子書籍の技術を融合させ、質の高い音声情報を、効率よく提供できる仕組みを作っていきます。

当館が新しい試みに挑戦し続けられるのも、多くのボランティアの方々のご理解とご協力があればこそ、です。今年度も、どうか私たちにお力をお貸しください。

（製作部部長　久保田文）

【千賀子のわくわく遊び隊】　さわって楽しむ生け花～むらさきつゆくさの会

1994年６月に視覚障害者のための生け花講座が始まり、現在14人の受講者が楽しんでおられます。「むらさきつゆくさの会」は、大阪市北区の未生流中山文甫会で月１回２時間程度、副会長の中山高昌さん、山野一甫（いっぽ）さんのご指導の下、大阪YWCAのボランティアさんが講座の運営、さらに駅からの送迎、受講生の生け込みのサポートをなさっています。開講以来、20年以上も続く生け花の魅力とは？出会ったことがない花をどのように感じ、どんなふうにイメージを描いて生け花を楽しまれているのでしょうか。お話を伺ってきました。（総務係　加治川千賀子）

そっと触れ、花との対話を楽しむ

鋏を入れる度に、水の粒子を含んだ香りが弾けているのでしょうか。室内に足を踏み入れると瑞々しい香りに迎えられました。受講生にガイドやボランティアも合わせると30人近く。準備が整った会場はすでに熱気に溢れていました。

お花は３種類。リアトリス、バラ、孔雀草。

花器の準備ができると、受講生は見本として生けられたお花の前に行き、先生の説明を聞きながら、剣山に挿された根元から茎、葉、花弁と一つ一つをなぞり、最初に挿す花から、拡がる角度、高低の対比、全体のバランスなど丁寧に見ていきます。何度もさわってイメージが描けたら開始です。

この生け花は「色彩盛花」といい、その花の背後にある風景から離れて、直接的に色を惹（ひ）き出そうとするもの。色の美しさ、形の美しさに加えて材質感を重んじ、造形的に表現するのだそうです。リアトリスを最初に挿し、孔雀草を後ろにバラを前に添えるように生けていきます。

生け込み中の方々に伺ってみると、今回が２回目の方は何度も花の位置を挿し替えながら「友人に誘われて始めたけれど、生けるのは難しい……」と不安そうに先生に見てもらう順番を待っておられました。数年通っておられる方は「１本目に挿す花の生け場所を間違えると他の花を挿すことができなくなるの」と失敗談を披露。10年を迎えた方は「知らないお花に出会えるのが楽しい」と笑顔。そばで進み具合を見守っておられたボランティアの方も「最初はお花の名前もわからなかったけれど、一緒に楽しんでいます」。剣山に１本ずつ挿していきながら全体のバランスを考えるってたしかに難しそうだけど、それぞれの段階で楽しみ方があるのかな？そんな思いがよぎりました。

20年余ボランティアで講師を務めるお二人

中山さんに講習会を開いた当初のお話を伺ってみると、「時計の文字盤で花を挿す配置をイメージしてもらったり、角度も細かく丁寧に説明していましたが、今は簡単な説明になっています。初めての方は「鋏を入れるのが怖いと言われ、少しずつ慎重に切っておられますね。」

「アドバイスは最後にされていますね」と尋ねると、「よほど大きな間違いがない限り、生け終わるまで見守り、うまくできたところを見つけながらよりよい形になるように直します。」

生け終わった方々のお花を見ていくと、最初にさわったイメージがうまく再現されています。花の先を優しくさわりながら、高さを見比べ、全体のバランスを考えて鋏を入れ、仕上げに入ります。見本を再現しながら、ちょっとした長さや角度の違いで生けた人の個性も表れ、見える私たちを楽しませてくださいました。

もう一人の講師、山野さんに「長く続く秘訣は何でしょうか」とお尋ねすると、「花が持つ魅力でしょうか。花をさわって癒やされ、自分も花と同化していく満足感。できあがったものを人に見てもらうことで、自分の成長を見いだし、来月も頑張ろうと思えるのでしょう。晴眼者は習得が早いけれど、年月が経ち、同じ花が巡ってくるとやめていく人が多いです。わかったような気になるからでしょうか。」

細やかなサポート体制

長く続く秘訣はサポートにもありそうです。講習中に山野さんが生け方のポイントを、中山さんが総評をテープに吹き込んでおかれます。講習会終了後、YWCAの音訳ボランティアさんが、連絡事項や話題を盛り込んでダビングし、後日、参加者全員に郵送されます。さらに、一人で参加しても駅からの送迎や会場内のサポートまで安心して受けられることが、また行きたい気持ちにさせてくれると思いました。

「むらさきつゆくさの会」ではこれまで５年ごとに記念イベントを開いてきました。受講生の発表の場となるだけでなく、晴眼者がアイマスクをして生けてみる体験も盛り込まれ大盛況だそうです。次回は2019年の予定ですが、ぜひ行ってみたくなりました。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2015年3月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点 字 製 作 ♣

3月分完成点字図書

24タイトル75冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

ＪＲニュース2015年4月号
(交通新聞社)　3冊
点・校:金曜日グループ

2015年4月　予定表(A4・1枚)
1冊　点:奥村純子

頭の悪い日本語(小谷野敦)　3冊
点:田中真理子　校:G校正
校:宗像真李子

失われた名前
(マリーナ・チャップマン)
5冊　点:細見康子　校:G校正
校:小林陽子

選ぶならこっち！(垣田達哉)
2冊　点:小原千賀子
校:G校正　校:平野 健

えるぴす2015年2月号
(日本キリスト協会大阪姫松協会)
1冊　点:杉島貴子　校:G校正

大阪府・大阪市・堺市・豊能地区の教職教養過去問2016年度版
(協同教育研究会編)　7冊
点:井上重子　校:G校正

「オネェ」がメディアにモテる理由
(藤井誠二 他)　5冊
点:前田久子　校:橋詰玲子
校:大蔵継子

怪異シバシバたたる
(くしまちみなと)　4冊
点:木下正義　校:宍戸邦栄
校:橋詰玲子

槻ノ木だより第114号
(大阪福祉事業財団)　1冊
点:杉島貴子　校:G校正

雑学子どもにウケるたのしい日本
(坪内忠太)　2冊　点:中川春美
校:川崎安恵　校:岡田允子

10万人を超す命を救った沖縄県知事・島田叡(ＴＢＳテレビ報道局『生きろ』取材班)　2冊
点:山本普実雄　校:G校正

スギナの島留学日記(渡辺杉菜)
2冊　点:浦田登志子
校:宗像真李子　校:岡田允子

頼れる士業のエキスパートたち
(ぎょうけい新聞社)　4冊
点:松下柳子　校:渡辺節子
校:平野 健

地域を元気にする世代間交流
(倉岡正高 他)　2冊
点:華崎律子　校:G校正
校:平野 健

忠臣蔵はなぜ人気があるのか
(稲田和浩)　3冊　点:都解節子
校:G校正　校:平野 健

中世的世界とは何だろうか
(網野善彦)　3冊
点:藤田比呂子　校:G校正

統合失調症がやってきた
(ハウス加賀谷・松本キック)
3冊　点:古本扶美子
校:清水浩子　校:平野 健

殿は替え玉３(藤村与一郎)　4冊
点:木下正義　校:宍戸邦栄
校:小林陽子

なぜ新築マンションには自然素材が使われないのか(鈴木雄二 他)
2冊　点:平石孝生　校:G校正
校:橋詰玲子
ペンギンが教えてくれた物理のはなし(渡辺佑基)　4冊
点:阿部節子　校:加瀬 孝
校:岡田允子
ぼくは「しんかい6500」のパイロット(吉梅剛)　4冊
点:浜田史子　校:G校正
校:岡田允子
ほくと通巻50号<特別記念号>
2012年3月　5冊　点・校:G東医
路地裏の資本主義(平川克美)
3冊　点:浦田登志子
校:宗像真李子　校:平野 健

学校教材　26年度後期分

【KS大学】
量子力学A
乙訓点字サークル　105頁
足立幸子　21頁
篠田弓枝　35頁
福元悦子　69頁

♠ 録 音 製 作 ♠

3月分完成録音図書

9タイトル(書名、著者、録音時間音訳者、校正者、編集者)

裏歌舞伎町まりあ横丁
(山谷哲夫)　6:35
音:大桑久美子　校:北川温子
渡辺周子　金井典子
編:植田美穂子
ゴーレム１(E.ミュライユ他)
9:01　音:川端真知子
校:桂 公子　植田美穂子
山下富代　編:森 和子
ゴルゴ１３　115【分冊１】
(さいとうたかを)　1:42
音・編:西村道子　校:澤田和代
世界を変える日に(ジェイン・ロジャーズ)　11:52
音:澤田和代　校:寺田美枝子
濵 欣子　編:岡 香代子
世界のスピリチュアル50の名著(T.バトラー＝ボードン)
17:18　音:川野久子　郡 寿美子
濵名あきよ　溝渕久美子
谷 智子　松本昌子　家城和子
長田ひとみ 三浦和子 杉本和子
高田郁恵　野村昭子
校:浜本裕子　金井典子
山見順子 木村純子 寺田美枝子
山下厚子　西田芳美　水野順子
小林幸子 山中眞理子 北川温子
久保洋子
校:福島博子 編:夛田禮子
そこはかさん(沙木とも子)　7:59
音:羽田直美　校:土井賀津子
坂口幸子　編:若槻敬子
飛田で生きる(杉坂圭介)　5:17
音:桃井輝子　校:栗本慶子
野﨑淳子　鳥山正彦
編:山下富代
伏見宮(浅見雅男)　14:51
音:石原英子　校:野村昭子
宮 清子
メイカーズ(クリス・アンダーソン)
11:55　音:郡 薫　校:山見順子
町田美樹子　編:岡 香代子

♥ プライベート製作 ♥

テープ図書

極意化の時代(高岡英夫)
カセット全5巻　7:30
音:濵 欣子　校:本田睦子

デイジー図書

インド王妃の遺産(ジュール・ヴェルヌ)　6:56
音:松本公丹子
教育破綻が日本を滅ぼす！
(尾木直樹)　5:52
音・編:髙橋由紀江
賢者A.T.スティルの教え
(ジョージV.ウェブスター)
2:07　音:石原英子 校:野村昭子
50代でしなければならない55のこと(中谷彰宏)　3:09
音:松本公丹子
実相寺昭雄研究読本　30:32
音:松浦洋子
新聞「赤旗」読書欄2015年1月、2月分
3:49　音:本田睦子 校:濵 欣子
母と暮らせば(石橋美年子)　2:31
音:音訳の会碧
目撃証言２(伊藤政則)　6:31
音・編:松田照子

テキストデータ

しんかんせんでビューン
新田 優
業務資料20150325
千徳節子

◆ 定 期 刊 行 物 ◆

『英語よもやま通信』
デイジー版 2015年4月号 2:52
音・校・編:英語チーム 伊東晴子
岡 香代子 奥田美穂 川端真知子
志水節子　辻本紀枝　中島 陸
西田芳美 西和田惠子 松浦洋子

『近畿視情協新刊案内』録音版
2015年2月号　デイジー版 2:05
カセット全2巻
音・校:郡 薫　倉富重雄

『子供の科学』
デイジー版 2015年2月号 4:06
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子 岸田素子 吉川弘美
澤田美那子 夛田禮子 田中英子
土井明美 長田ひとみ 南浦京子

『サイエンスかわら版』
デイジー版　2015年2月号 3:47
音・校・編:理数チーム 井駒多津子
小林加代子 杉本和子 濵 欣子
福島博子　本田睦子　目連雅子

『読書』2015年4月号
デイジー版 1:03
音:本田睦子　校:濵 欣子
発送= POOLE社会ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの会
尾﨑照子 小野法子 大谷充子
小寺佳美 佐藤和子 林 幸子

『お役立ち目録 2015年4月号 ～国際問題～』
デイジー版 0:09
音:本田睦子　校:濵 欣子

『鍼灸 OSAKA』Vol.30 No.3 (2014.Autumn 115号)
デイジー版　12:24
音･校･編:東洋医学チーム
荒木良子 岩崎千佐子 片岡珠子
金井典子　壁谷岑子　久保洋子
栗本慶子　佐久間かず子
佐々木マス子　佐山敦子
夛田禮子 長田ひとみ 野﨑淳子
濵名あきよ 浜本裕子 前川祐子
三上 菊　桃井輝子　渡辺一枝

『日経パソコン』
デイジー版 2015年3月号 4:05
音･校･編:情報文化センター
石井那智子 片岡珠子 桂 公子
金井典子 川端真知子 北川温子
木村純子　小林幸子　坂口幸子
阪本由美子　佐々木マス子
佐山敦子 下山とよみ 竹田佳代
津川淳子 寺田美枝子 西田芳美
二宮真理　橋本万里　浜本裕子
福島博子　松浦洋子　目連雅子
三上 菊　山見順子

『週刊新潮』デイジー版
2015年2月26日号 9:20
大島幸枝　大塚しづ子　奥 幸子
上村裕子 加茂みくり 川添美智子
姜 貞眞　北川由美子　阪本美紀
佐藤公平　澤井 稔　沢田玲子
柴田智美　島 美緒　嶋林茂子
関田通子　大登晴代　武市敦子
竹田光子　津川淳子　中農晃子
中村京子　橋村惠子　橋本順子
浜 洋一　前田元子　松井喜美代
真見奈津子　密山一二三
八十嶋敦子　吉田典子　吉永英子
渡辺周子　和田啓子
編集　古跡眞知子

2015年3月5日 8:56
乾 郁子　今岡松代　大山 猛
岡村勝彦 柏木和子 加藤紀美子
上田啓子 河原眞知子 黒河典子
斉藤良子 中村千賀子 中村直美
野村美穂子 中本和代 西田文子
畑中法子 兵頭つね子 深津綾子
福井和子　福田佳代
編集　中本和代

2015年3月12日号 10:00
井尻府三重 植田純子 上原多美子
奥 幸子　長村明子　加藤和夫
坂口幸子 阪本由美子 佐藤圭子
佐藤公平　鈴木恵子　大登晴代
武市敦子　津川淳子　中農晃子
中村京子　増田典子　向髙寿子
八十嶋敦子 山本晴代 吉田典子
編集　町田美樹子

2015年3月19日号 10:24
天江美佐子　有末 道　池田和子
岩谷友子　上野輝子　太田貴子
大山節子 北村優美子 沢田玲子
新熊美衛子 髙久俊子 詫摩多美子
寺西竹子　中村洋子　西村道子
西本美加子　西山トシ子
直場徳宥 橋本明子 橋本嘉代子
星子鐵郎　前田アキ　松浦洋子
松原和子 柳内登喜子 山下富代
山下 豊　大和澄子
編集　井駒多津子

新潮音訳協力グループ:
グループN-BUN、音訳サークル「あい」、八幡市民図書館朗読ボランティアサークルよむよむ、デイジー大阪、奈良県視覚障害者福祉センター「草笛会」

『ONE BOOK ONE LIFE』
2015年4月号発送
西垣泰子　藤原静江　松永壮兒
山田一弘

✎ 音 声 解 説 ✍

◆ボイスぷらす
釣りバカ日誌6
解説ナレーション:蔵田ゆみ子
台本･編集:尾崎一恵 加藤由美子
蔵田ゆみ子

上映会機材貸出・整理協力
阪口雅代 北川富美代 中嶋真弓
那須由美子　西川真知子
藤井倫子　廣野美代子

◆キネマ・アンサンブル
シネマ・デイジーの製作･提供
容疑者Xの献身

☆ マルチメディア ☆ ＤＡＩＳＹ

～一ツ橋綜合財団助成事業～
マルチメディアデイジー図書をはじめとする当館の電子書籍は、公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成により製作されています。

◆テキストDAISY図書
MONTHLY “日本一”明るい経済新聞3月号
ﾃｷｽﾄ化･DAISY編集:酒井佐代子

◆テキストデータ
窓　昭和45年3月第32号
新田 優　木原富子

❦ 館内お手伝い ❦

図書･情報サービス

足立宣美　飯村康志　岩井正雄
板波キミ　板谷照美　片岡忠克
木畑紀子　帰村千恵　小寺高子
清水美枝子 木村謹治 当房公子
武部はつ子 野間絹子 廣川公栄
逸見恵子　宮嶋昌代　森本益子
渡邊洋子　若槻敬子
［茨木市バラの会］小椋美智子
菅野淑子　永崎利恵　百田静代
平岡恵美子　堀林美智子

◆ 3月の貸出実績

点字　　210tl　ＦＤ 0 tl
デイジー3765tl テープ 34tl

★3月の人気貸出図書★
(当館製作図書。順不同。)
【点字図書】
がんとDNAのひみつ(生田哲)
君たちはなぜ、怒らないのか
(大島武ほか)
姫路城主「名家のルーツ」を
探る(播磨学研究所)
腰痛を治す65のワザ＋α
(小山郁，大手小町編集部)
【デイジー図書】
うろつき同心勘久郎鬼刀始末2
(関根聖)
残照の村から(小堀充清)
万葉集があばく捏造された
天皇･天智 上･下(渡辺康則)
猿飛佐助の憂鬱(福田善之)

整理･情報サービス

井川倭文子 板波キミ 板谷照美
逸見恵子 鱗星千恵子 日下清香
松本美津子

録音製作

小林弘子　並木昌子　堀マサ子
宮崎ナオヨ

［製作数］
新刊 54タイトル(CD 380枚)
雑誌 9タイトル(1050枚)
(『英語よもやま通信』『近畿視情協新刊案内』『子供の科学』『サイエンスかわら版』『読書』『お役立ち目録』『週刊新潮』『日経パソコン』『鍼灸OSAKA』)

情報システム

森田敏子

❣ 対面リーディング ❣

足立雅子　荒河裕子　井上惠子
岩見博司　上ノ山禎子　後 恵子
江口不二子 大島幸子 荻野珠紀
小笠原みゆき 奥井秀子 桂 公子
加納蕙子　神谷考子　菊池雅子
岸田素子 北村優美子 黒瀬勝司
古賀和子　小杉洋子　柴田智美
渋谷登与子　島 美緒　神保克子
角野和子 高橋美代子 高橋節子
竹下正子 武富万千子 谷崎節子
田伏惠子 中野龍子 西村與里子
新田幹子　沼田淨子　直場徳宥
畠田幹子　　林 勇　　林 敏夫
廣岡敏雄 福島悦子 福田嘉寿憲
麓 孜子　古木昭子　寶田サチヱ
細井昌子　細見芳江　前田芳野
増尾明子 増山多惠子 待田敏彦
松谷富子　松田洋子　松原和子
眞野祥子　三島啓子　宮本和子
望月 明　森田 陞　八十嶋敦子
山内一子　山田栄利子
3月　利用者16人･63件
ボランティア62人

✉ パソコンサポート ✉
（ボイスネット）

【3月実績】
訪問(2回 3人):栗谷博子 萩原博子
福島智子
例会:石川昌宏 伊藤 勇 栗谷博子
高田佳直　和田眞由美
HP更新:中条正信

❋ ご 寄 附 ❋

親切会関西支部
風仁サロン
小澤　亘　茄子原伸和
野村和彦　渡辺典子　匿名2件
(敬称略をご容赦下さい)

◎ 国際協力 ◎

ダスキン･アジア太平洋障害者リーダー育成事業･第16期研修生チゴンさん(ヴィリヤ・チャンチャルン、ラオス)の研修にご協力くださった方々

伊東晴子 大澤みさき 西垣泰子
竹下八千代 ネルソン橋本桂子
待田敏彦　山本 香

◆ バリアフリー2015 ◆

バリアフリー2015「目の見えない方・見えにくい方のための展示コーナー」(４月16～18日)で点字名刺体験にご協力いただいた方々

入江知子　栗栖　忍　池田園子
瀧田愛子　前田裕子　奥川法子
清水浩子 濱田恵美　山根真紀子
鴻上真理　高橋奈緒己

◎ボランティア友の会世話人会報告

3月26日(木)10:00～11:30
出席者:飯村 伊東 井上 片岡
加藤 鳥山 藤井 前田 山見 山本
(館から竹下 林田 加治川)
〈館からの報告〉
・新年度事業計画について
〈協議事項〉
・新年度の役割分担
・ボランティア交流会･総会反省
・ガイド体験会検討
〈次回〉 5月7日(木)10:00～

肥後橋交差点の地上と地下通路で工事

肥後橋交差点の北西角と南西角を結ぶ横断歩道が閉鎖され、従来より10m西へ移設されました。また、肥後橋駅コンコースと建替中の朝日新聞社ビルを結ぶ地下通路も近く閉鎖されます。これは地下通路にエレベーターとエスカレーターを設置するための工事で２年間続きます。梅田方面と当館の間を歩いておられる方はご注意ください。

友の会の新しい世話人会がスタート

ボランティア友の会の新しい世話人会が発足しました。代表は片岡忠克(図書･情報)、書記は藤井倫子(音声解説)、会計は山本普実雄(点字)。世話人は飯村康志(図書･情報)、伊東晴子(対面)、井上惠子(対面)、加藤珠子(MMD)、鳥山正彦(録音)、前田裕子(点字)、山見順子(録音)の皆さん(敬称略)です。ご協力をよろしくお願いいたします。

瀧沢彰子(あきこ)を製作部電子書籍担当に採用

当館では５月から製作部電子書籍担当として瀧沢彰子を採用します。８階に在席し、久保田部長の下で、「音訳教材」研究事業をはじめ、当館の専門音訳技術を電子書籍の発展に繋ぐ業務を担当します。これまで海外の視覚障害者や手話通訳者の研修事業に従事してきました。どうぞよろしくお願いいたします。

【お詫び】　◆前号に掲載したボランティアのお名前が３人も誤っていました。申し訳ございません。改めて掲載いたします。
30年表彰＝西川淑子さん(録音Ｖ)
20年表彰＝木畑紀子さん(館内作業Ｖ)
点訳講習会講師補助＝雪岡加奈子(点訳Ｖ)
◆小原二三夫職員の木彫作品展(５月31日まで)の会場「六甲山の上美術館・さわるミュージアム」の電話番号が誤っていました。正しくは電話078-894-2400です。ご来場の際は開館をご確認の上お出かけください。

チャリティコンサートのご協力に感謝

４月12日の当法人チャリティコンサートには１千人を超えるお客様が来場され、演奏を楽しんでいただけました。ご来場下さった方々とチケット販売にご協力いただいた方々に心から御礼申し上げます。

あ ゆ み

【４月】
11日　オープンデー(館内見学日､参加４人)
12日　当法人チャリティコンサート
16日　バリアフリー2015「目のコーナー」
21日　見学：フィリピン国立図書館職員

予　定

【５月】
７日　ボランティア友の会世話人会
９日　視覚障害者ICTサポート講習会開講
　　オープンデー(館内見学日､要予約)
12日　専門点訳講習会「東洋医学コース」開講
29日　企業・団体職員向けオープンデー
30日　わろう座映画会「雨あがる」
【６月】
４日　ボランティア友の会ガイド体験会

編 集 後 記　知っていますか？囲碁は視覚障害者の人たちにも人気があるんですよ。私も趣味と頭の体操も兼ねて時々やってます。囲碁には、いろんな格言があって「敵の急所はわが急所」急所を見つけても安心してはいけない、そこは自分の急所でもある。「岡目(おかめ)八目(はちもく)」当人たちよりも傍で見ている人の方が８目読める。情勢や利害得失を正しく判断できることなど教えがとても興味深いです。(茂)

ONE BOOK ONE LIFE(ワン ブック ワン ライフ) 2015年５月号
発　行　社会福祉法人日本ライトハウス
　　情報文化センター(館長 竹下 亘)
住　所　大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
　　TEL 06-6441-0015　FAX 06-6441-0095
　　E-mail info@iccb.jp
表紙絵　武部はつ子
発行日　2015年５月１日
定　価　1部100円　年間購読料1,000円